

子どもと家庭を切れ目なくサポート

# 総合支援拠点を設置へ

横浜市会議員 仁田まさとし

2021年度の市予算も家庭支援課に「子ども  
案を審議する市会定例会 家庭総合支援拠点」を設  
が開かれています。この 置することが盛り込まれ  
中で私は3月8日にあつ ました。私は18年度の予  
た予算特別委員会のご 算特別委員会で拠点設置  
も青少年局関係の審査 を主張し、その後も仕組  
で、子どもの支援など に みを提案してきました。

関する質問をしました。 拠点は全国で児童虐待  
予算案には、子どもと 事実が多発したことが  
その家庭や妊産婦らに切 ら、国が市町村に設置を  
れ目のない支援を実施す 求めているものです。市  
のため、各区役所のこと の計画では21年度中に南

区を含む10区、22年度中  
に8区に設置します。

待、養育困難など、学齡  
期までの課題に対応する  
ため、母子保健コーデ  
ネーターや保健師、助産  
師などが気になる子ども  
や家庭を把握し、拠点で  
社会福祉職など多職種が  
カンファレンスを行い、  
支援方針を検討します。

また、要保護児童らへ  
の支援として「子どもの  
権利擁護担当」を新設  
し、「横浜市版子育て世  
代包括支援センター」機  
能とも連携し支援しま  
す。同センターは区福祉  
保健センターと地域子育  
て支援拠点が連携し、子  
育て家庭を支える環境つ  
くりを目指すものです。  
同担当には心理の専門職  
を配置し、子どもからの  
相談にも対応するなど、  
機能を強化します。  
審査では、子どもが相  
談しやすい環境づくりや  
拠点を担う人材の確保や  
育成に力を入れて取り組  
むべきと主張しました。

## LINE相談の周知・充実を

児童虐待防止策とし  
て、市は昨年7月から神  
奈川県などと合同で「か  
たことから有効な手段  
ながわ子ども家庭110  
番相談LINE」を始め  
ました。「LINE」を  
家庭総合支援拠点の入口  
とするために、子どもへ  
が虐待や家庭の悩みを相  
談できる仕組みで、昨年  
7月から今年1月までに  
市内で子ども本人から4  
46件、保護者から7  
19件の相談がありまし  
た。このうち、虐待相談  
は子ども本人から82件、  
保護者らが132件でし  
た。LINEを使っている  
全力で取り組みます。



にっ た  
**仁田まさとし プロフィール**

- 市民・文化観光・消防委員会
- 健康づくり・スポーツ推進特別委員会
- ◇ 施政方針は「動く、創る、変える。」

ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>  
ライン 情報発信中

このほか、保育・幼児  
教育センター（仮称）の  
検討状況などについて質  
問しました。  
私は今後も子育て環境  
の充実、将来の担い手と  
なる子どもたちの支援に